

退院調整ルール運用開始後の令和2年度メンテナンス協議の開催結果について

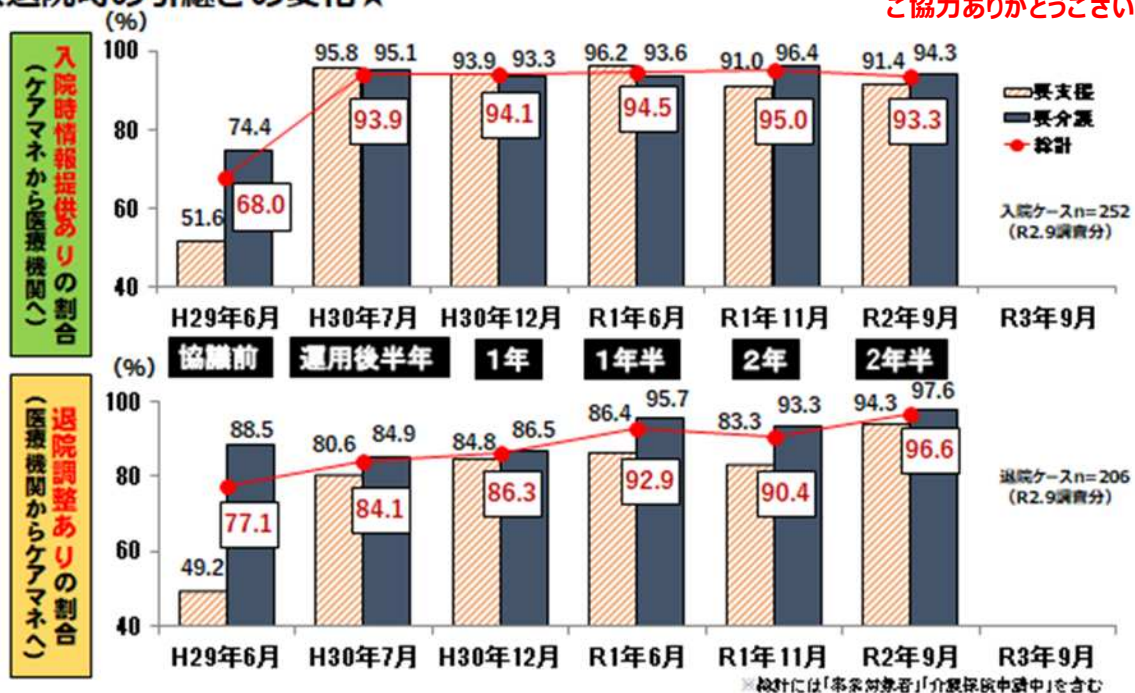
「南薩保健医療圏域退院調整ルール」の運用状況を点検し、改善点を検討するため、メンテナンス協議を開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、運用状況の点検を9月の1回のみとし、メンテナンス会議も各医師会や県介護支援専門員連絡協議会支部等から各市代表を選出いただき、小規模（前回の会議参加者数の3分の1以下）で11月17日に開催しました。

	令和2年度医療・介護合同会議（枕崎市・指宿市・南さつま市・南九州市）
日時	R2.11.17(火)14時～16時
場所	南九州市コミュニティセンター川辺文化会館
参加者	15名 各市の医療機関代表者 計7名, 各市の介護支援専門員代表者 計8名
内容	(1) R2年9月の退院調整ルール運用状況確認調査の結果報告 (2) 感染症予防対策により面会制限のある中での連携について (3) 事例検討) 独居高齢者で退院先が施設の場合、退院にむけてどのような支援・準備が必要か (4) 令和2年度・令和3年度のスケジュールについて

1. ルールが定着し、入退院時の引継ぎは、関係者が相互に工夫しながら実施しています！

★入退院時の引継ぎの変化★



◎R2年9月の調査では、ケアマネから医療機関へ連絡して、医療機関から退院情報の提供を受けた4件も退院調整ありに含みました。（ルールが定着し、医療機関・ケアマネがタイムリーに連携を取り合った事例と判断しました。）

◎入退院時の情報提供率は、どちらも**90%以上をキープ**しています。

◎入退院時どちらも**要支援の方の情報共有が少ない**状況です。

◎**入院時情報提供なし**には、定期入院、検査入院、退院から短い期間での再入院など、**退院時情報提供なし**には**死亡退院、転院、退院後施設入所、転居**などの理由が考えられます。支援が必要な方への引継ぎ漏れの有無やその背景を、次回の運用状況確認調査では把握したいと考えています。

<メンテナンス会議の協議内容から>

◎ 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策により面会制限のある中での医療・介護の連携について
～ 今後の方針や本人・家族の状況や意向を共有するために ～

医療機関の状況	ケアマネの状況（家族の状況も含む）
<ul style="list-style-type: none">・医療機関によって感染予防対策が異なり、面会・面談・退院前カンファレンス参加等への対応が異なる・情報共有の為に電話・FAXで対応している・退院支援のための関係者と面談については、医療機関から別居家族に必要性を説明し、了解を得て面談の場を設けている・カンファレンスは、換気を行い、外部の参加者も少なく、外部と患者の接触を少なくして、患者の意向をスタッフが外部に代弁できるよう工夫し、安全な環境での開催に留意している・患者もマスクをつける。病室以外の部屋を設けている・面会制限のない医療機関…事前連絡し、検温、フェイスシールドを着用し、看護師付添で面会。面接時間5分程度・窓ガラス越しの面会、タブレットの活用、リハビリの画像提供 等	<ul style="list-style-type: none">・感染対策をとって、面会制限の中、短い時間でも面会できることは有難い・事前にスタッフから情報を得て、本人とは、なるべく短時間の面談になるように努めている・ケアマネが必要な情報を医療機関に要請してシートで情報を得ることもある・医療機関との連携が薄くなったとは感じない・家族も面会ができていないので、退院後のイメージがつかない実情は退院しないとわからないので、最悪の状況を想定して、暫定プランを作成し、退院後に変更している
<ul style="list-style-type: none">・電話対応が長くなったり、多くなっている。この対応は、退院支援のための連携にかかせない！・医療機関は、入院してからの患者の状況を知っている。ケアマネは、入院する前の生活状況を知っている。お互いに基準としている視点が違うので、伝えたい情報がずれ違うこともある。確認しながらすすめていこう。	

2. 令和3年度の事業スケジュール（案）について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、令和3年度までは今年度と同じように、医療機関・介護支援専門員の事業所の代表者全員が一堂に会してのメンテナンス会議ではなく、小規模開催を考えています。

<令和3年度のスケジュールについて>

- 企画運営会議 … 6月頃 R2年度メンテナンス会議に参加した医療機関代表とケアマネ代表・各市・振興局
- 退院調整状況確認アンケート調査 … 年1回（9月頃）
- メンテナンス協議（医療・介護合同会議）… 年1回（11月頃）参加者の選定方法は、未定

3. 事業参加医療機関は44か所です（未参加は残り2か所）

事業参加医療機関は、令和2年10月末現在 **44か所** です。

【枕崎市】

ウエルフェア九州病院、尾辻病院、小原病院、久木田整形外科病院、サザン・リージョン病院、立神リハビリテーション温泉病院、枕崎市立病院

【指宿市】* 市内全医療機関が参加

今林整形外科病院、赤崎病院、伊藤記念病院、指宿浩然会病院、指宿さから病院、指宿竹元病院、指宿医療センター、西田病院、山川病院、生駒外科医院、指宿脳神経外科、上村内科クリニック、開聞クリニック、木之下クリニック、橋口医院、肥後内科クリニック

【南さつま市】

阿多病院、有馬病院、加世田病院、県立薩南病院、真愛病院、南さつま市立坊津病院、南さつま中央病院、アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町、小山クリニック、徳久整形外科、友松内科クリニック、宮内クリニック、唐仁原内科クリニック

【南九州市】

川辺生協病院、菊野病院、こだま病院、中村温泉病院、南薩ケアほすびたる、南九州さくら病院、笹川医院、青木医院



退院調整ルールの周知を図り、**みんなでルールを運用し、活用していきましょう！**

これからも、メンテナンス協議を続けていきます。ルール運用上でのご困りごとは、振興局や各市地域包括支援センターへ御相談ください。今後とも御協力よろしくお願いします。